

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【公開番号】特開 2015-85920 (P2015-85920A)
 【公開日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-030
 【出願番号】特願 2013-228820 (P2013-228820)
 【国際特許分類】

B 6 2 J 6/02 (2006.01)

B 6 2 M 6/45 (2010.01)

【 F I 】

B 6 2 J 6/02 A

B 6 2 M 6/45

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 10 月 20 日 (2016.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

図 4 から図 6 を参照して、表示操作装置 40 は、装置本体 86 と、取付部 88 とを含む。取付部 88 は、略環状に形成され、装置本体 86 に設けられかつハンドル 32 の外周面を保持するようにハンドル 32 に取り付けられている。取付部 88 は、上側部材 88a と、下側部材 88b と、上側部材 88a と下側部材 88b とを連結する締結部材としてのボルト 88c およびナット 88d とを含む。上側部材 88a は、装置本体 86 のケース下部 86e (後述) の下面に取り付けられている。この実施形態では、上側部材 88a とケース下部 86e とは一体的に形成されている。上側部材 88a と下側部材 88b とは、互いの一端部が嵌合され、互いの他端部がボルト 88c およびナット 88d によって連結されている。下側部材 88b は、たとえば可撓性部材からなり、ハンドル 32 の外周面を外周方向に略 4 分の 3 包囲するように、ハンドル 32 に取り付けられている (図 6 参照)。ハンドル 32 の外周面のうち、下側部材 88b によって包囲されていない外周方向の略 4 分の 1 は、上側部材 88a によって包囲されている。このように、上側部材 88a と下側部材 88b とによってハンドル 32 の外周面を外周方向に包囲した状態で、上側部材 88a と下側部材 88b とをボルト 88c およびナット 88d で連結することによって、装置本体 86 (表示操作装置 40) がハンドル 32 に取り付けられる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

図 4 から図 7 を参照して、受光窓 98 は、ハンドル 32 のうち取付部 88 の取付箇所軸方向 X において、操作面 90 の重心点 A (操作面 90 の幾何学的な重心) よりもステム側に位置する。また、操作面 90 に対して垂直な方向から見たとき、ハンドル 32 のうち取付部 88 の取付箇所軸方向 X に延びかつ重心点 A を通る仮想線分 B を挟んで、受光窓 98 とシート 50 とが、互いに反対の位置にある。さらに、受光窓 98 の少なくとも一部は、操作部群 94 よりも、具体的には、電源ボタン 102 およびメータ表示切替ボタン 1

08よりも、ステム側に位置する。この実施形態では、受光窓98は、メータ表示切替ボタン108の近傍に位置する。言い換えれば、受光窓98は、操作面90における一隅部に形成されている。照度検出部100は、受光窓98からの光を受けることができる位置に設けられ、典型的には、受光窓98を通りかつ操作面90に対して垂直な線上に配置される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

照度検出部100の検出結果が第3閾値を越えると瞬時に前照灯30を消灯させるのではなく、照度検出部100の検出結果が第3閾値を越える時間が第4閾値以上継続したとき前照灯30を消灯させる。たとえば、表示操作装置40の操作時に照度検出部100に光を与える受光窓98に不用意に光が入り込んでも、瞬時に前照灯30が消灯することを抑制できる。このように消灯遅延時間を設けることによって、照度検出結果に基づいて前照灯30を消灯させる場合においてノイズの影響による意図しない前照灯30の消灯の発生を抑制できる。また、消灯するための時間に関する第4閾値を用いることによって、照度に関する2つの閾値（第1閾値および第3閾値）の差では回避できない大きなノイズの影響を抑制することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

